

2025年度

第15期

事業報告書

(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

- I. 助成事業
- II. 普及事業
- III. 第36回表彰・贈呈式
- IV. 会議等
- V. 財団役員・評議員・選考委員
- VI. 2025年度表彰受賞者及び研究助成採択者
- VII. 事業報告附属明細書

公益財団法人 コーセーコスメトロジー研究財団

## **財団の事業目的【定款第3条】**

本財団は、コスメトロジー（化粧品学）に関する調査研究に対し助成を行うことにより、広く国民の保健衛生の向上を図り、美しく豊かな人間生活の実現に寄与することを目的とする。

### **I. 助成事業（公益目的事業(1)）**

#### **【定款第4条】**

- (1) 美しく豊かな人間生活を実現するためのコスメトロジーの理論的体系化に関する調査研究に対する助成
- (2) 皮膚の生理機能や老化機構の解明、美容に役立つ素材の研究等コスメトロジーに関連した生命科学その他分野の調査研究に対する助成
- (3) 上記（1）及び（2）に掲げる調査研究に関する国際交流の助成及びシンポジウム等の開催支援

#### **（1）事業計画**

##### **1. 研究助成事業**

###### **1-1 コスメトロジー研究助成**

総額 6,000万円 [前年同額] 1件あたり助成額50～200万円として30～40件を助成

###### **1-2 特定課題研究助成**

総額 4,000万円 [前年同額] 2024年度採択4件に2年目の助成金各1000万円を交付  
・2024年度特定課題『細胞のリプログラミングによる若返り研究』

##### **2. 国際交流助成及び学術集会支援助成事業**

###### **2-1 国際交流助成**

総額 400万円 [前年同額] 1件あたり 50万円又は100万円

###### **2-2 学術集会支援助成**

総額 400万円 [前年同額] 1件あたり 50万円

- ・国際交流助成及び学術集会支援助成を合わせた総額で予算管理し、両助成を受付順に審査し、助成総額の合計800万円に達するまで公募する。

#### **（2）経 過**

##### **1. 研究助成事業**

###### **1-1 コスメトロジー研究助成**

- ・本年度は5月7日から7月3日を公募期間として、全国の大学・研究機関等に本助成の公募

要領を送付し、財団・学会のホームページに公募案内を掲示するなどして募集した結果、応募総数は166件と過去最高の応募があった。

- ・ 応募課題について、選考委員会分科会において分野別に予備選考（書類審査）を行い、9月30日に本選考委員会を開催して助成候補者を選定した。最終的に、臨時理事会（10月9日、書面）にて助成採択者32名を決定した。

#### 1-2 特定課題研究助成

- ・ 本年度は新規の公募は行わず、2024年に採択された4件の2年目の助成金を交付した。

## 2. 国際交流助成及び学術集会支援助成事業

### 2-1 国際交流助成

- ・ 5件の応募があり、全ての応募について選考委員長の審査及び選考委員会の承認を得て、臨時理事会（10月9日、書面）の議決により助成が決定された。

### 2-2 学術集会支援助成

- ・ 9件の応募があり、全ての応募について選考委員長の審査及び選考委員会の承認を得て、臨時理事会（10月9日、書面）の議決により助成が決定された。

## (3) 結果

上記事業をあわせた本年度助成件数は50件となり、助成金総額 1億800万円を交付した。

コスメトロジー研究助成	32件	6000万円
特定課題研究助成	4件	4000万円
国際交流助成	5件	350万円
学術集会支援助成	9件	450万円

【財団設立以来の累計】 採択件数1053件、交付金総額16億5084万円（表彰事業を含む）

## II. 普及事業（公益目的事業(2)）

### 【定款第4条】

- (4) コスメトロジーに関する各種資料の収集及び普及

## (1) 事業計画

### 1. 研究報告集発行事業

#### 1-1 中間報告書

「研究業績中間報告集 第34号」2025年5月発行

### 1-2 完了報告書

「コスメトロジー研究報告 Vol. 33」2025年9月発行

## 2. 表彰事業

「コーセーコスメトロジー奨励賞」 表彰金総額 200万円

## (2) 経 過

### 1. 研究報告集発行事業

#### 1-1 中間報告書

2024年10月31日 中間報告書、使途報告書提出依頼  
2025年4月14日 校了  
2025年5月7日 納入（150部）  
2025年5月8日 「研究業績中間報告集 第34号」発送

#### 1-2 完了報告書

2024年12月23日 完了報告書、使途報告書他提出依頼  
2025年8月20日 校了  
2025年9月2日 納入（950部）  
2025年9月4日 「コスメトロジー研究報告 Vol. 33」発送

## 2. 表彰事業

### 「コーセーコスメトロジー奨励賞」

- ・2018年度以降のコスメトロジー研究助成採択者に本表彰の趣意書を送付して、助成研究課題に関する論文提出を求め、期日（8月31日）までに、昨年度までの提出分を含めて、研究者47名から論文延べ90報の提出を受けた。
- ・論文実績の客観的指標として、提出された論文の被引用件数を調査した。
- ・この調査結果から、最も論文実績が優れた研究者1名を、選考委員会において表彰候補者として選出し、臨時理事会（10月9日、書面）の承認を得て、受賞者を決定した。

## (3) 結 果

### 1. 研究報告集発行事業

#### 1-1 中間報告書

「研究業績中間報告集 第34号」2025年5月1日発行  
配布先・・・財団役員・委員、執筆者、会社関係等（80部）

#### 1-2 完了報告書

「コスメトロジー研究報告 Vol. 33」2025年9月1日発行

配布先…国立国会図書館、科学技術振興機構、情報学研究所、学会・工業会、  
大学・研究機関、業界関係、財団役員・委員、執筆者、会社関係等（857部）  
財団のホームページに全文掲載（9月2日）

## 2. 表彰事業

「コーセーコスメトロジー奨励賞」2025年11月27日 第36回表彰・贈呈式において表彰

受賞者：石田竜弘 徳島大学大学院医歯薬学研究部（薬学系） 教授

第32回コスメトロジー研究助成受賞（2021年度採択）

研究課題：ポリエチレングリコール（PEG）含有化粧品によって誘導された抗PEG抗体  
によるCOVID-19-mRNAワクチン投与時のアナフィラキシー反応誘導現象の検証

## Ⅲ. 第36回表彰・贈呈式

開催日時・場所 2025年11月27日（木）15:00 パレスホテル東京

・参加者102名（受賞者32名、来賓8名、財団役員・委員29名、会社関係者33名）

## IV. 会議等

### ■ 開催概要（時系列）

見出No.	会議名	実施日	記事
(1)	監事会	2025年 5月13日	p. 6
(2) 1.	第一回通常理事会	2025年 5月22日	p. 7
(3) 1.	定時評議員会	2025年 6月13日	p. 12
(4) 1.	選考委員会第一～三分科会（書面）	2025年 9月11日	p. 14
(4) 2.	選考委員会	2025年 9月30日	p. 14
(2) 2.	臨時理事会（書面）	2025年10月 9日	p. 8
(2) 3.	第二回通常理事会	2025年11月27日	p. 9
(3) 2.	評議員への報告（書面）	2025年12月 9日	p. 13
(4) 3.	選考委員への報告（書面）	2025年12月 9日	p. 15
(4) 4.	臨時選考委員会（書面）	2026年 3月 2日	p. 16
(1) 4.	第二回臨時理事会（書面）	2026年 3月 2日	p. 11

### （1）監事会

日時：2025年5月13日（火）午後1時30分より      場所：財団事務所  
監事総数：2名      出席：2名

#### 《審議事項》

1. 2024年度事業及び会計の監査
2. 2024年度監査報告書の作成

・監事会に先立ち5月8日にコーセー経理部による当年度会計の事前監査を実施した。

## (2) 理事会

### 1. 第一回通常理事会

日時：2025年5月22日（木）午後2時より                      場所：コーセー本社  
理事総数：9名    出席：9名（内3名オンライン出席）  
監事総数：2名    出席：2名  
提案：2025年5月13日                                      議事録作成：2025年5月23日

#### 《審議事項》

#### 第一号議案 2024年度事業報告及び収支決算報告(含監査報告)を承認する件

2024年4月1日より2025年3月31日までの事業年度の事業報告及び決算報告につき、専務理事から配布資料に基づいて説明があり、引き続き、小林監事より監査報告があった。この説明と報告のあと、専務理事から本事業報告及び決算報告について、定時評議員会において承認の決議を求める旨の提案がなされた。

慎重審議の結果、本議案は出席理事全員の同意により承認可決された。

#### 第二号議案 吸収合併契約承認の件

冒頭、専務理事より、本議案は当財団が公益財団法人コーセー小林スポーツ財団との間で、2026年（令和8年）4月1日を効力発生日として、当財団を存続法人とする吸収合併を行うことに関するものであり、小林理事長は当該契約に関連して特別の利害関係を有する理事に該当するため、定款第47条により本議案の議決に加わることができない旨の表明があった。

そのため、定款第34条第4項に基づいて、専務理事が本議案の議長を代行することについて提案したところ、議決に加わることができる理事全員の同意と、監事から異議なしとの確認が得られたため、専務理事が本議案の議長を務めることとした。

続いて、専務理事から、配布資料に基づいて吸収合併を行う理由と吸収合併契約を2025年6月13日付で締結したい旨の説明がなされ、理事会において吸収合併契約について承認し、定款第21条第10号及び第56条の規定により、定時評議員会において承認の決議を求める提案がなされた。

慎重審議の結果、本議案は議決に加わることができる理事全員の同意により承認可決された。

#### 第三号議案 合併に伴う定款の一部変更に関する件

本議案より、理事長が再び議長を務め、専務理事に議案説明を求めた。

専務理事より、当財団が第二号議案「吸収合併契約承認の件」記載のとおり吸収合併を行うにあたり、当財団の現行定款の一部を変更することについて配布資料に基づき説明が

あり、本議案を理事会において承認し、定款第21条第6号及び第55条第1項の規定により、定時評議員会において承認の決議を求める提案がなされた。

なお、本議案に係る定款変更は、第二号議案「吸収合併契約承認の件」が原案どおりに定時評議員会において承認可決され、同議案で承認された吸収合併契約に従い吸収合併がその効力を生ずることを条件として、当該吸収合併の効力発生日である令和8年4月1日に、その効力を生ずるものとされた。

慎重審議の結果、出席理事全員の同意により、定款の一部変更について評議員会の決議を求めることが承認可決された。

#### **第四号議案 合併財団の事業計画及び収支予算書を承認する件**

専務理事より、当財団が第二号議案「吸収合併契約承認の件」に記載のとおり吸収合併を行うにあたり、その効力発生日である令和8年（2026年）4月1日に始まる事業年度となる2026年度事業計画及び収支予算書について配布資料に基づき説明があり、理事会の承認を求める旨の提案がなされた。

なお、当該事業計画及び収支予算書は、本理事会において承認可決後、吸収合併に係る事前の行政手続き（内閣府への届出等）に使用するものとされた。

慎重審議の結果、本議案は出席理事全員の同意により承認可決された。

なお、本理事会における第一号、第二号及び第三号議案の承認に基づく定時評議員会は、2025年6月13日（金）午後2時より本財団会議室にて開催することを確認した。

#### **《報告事項》**

定款第34条第5項に基づき、理事長及び専務理事の職務執行状況について、2024年度第二回通常理事会以降の報告がなされた。

※ 以下、報告の項目のみを記載、具体的内容は議案書または議事録を参照

1. 財団合併の準備状況について
2. 助成事業の進捗状況について
3. 普及事業の進捗状況について
4. 「第36回表彰・贈呈式」の開催予定について

## **2. 臨時理事会（書面）**

定款第48条に基づく理事会の決議の省略の方法により実施（書面）

理事：9名

監事：2名

提案：2025年10月1日

議事録作成：2025年10月9日

**理事会の決議があったとみなされた事項**

### 第一号議案 2025年度（第36回）研究助成者等を承認する件

2025年度（第36回）のコスメトロジー研究助成、国際交流助成及び学術集会支援助成について、議案書のとおり助成採択者を承認した。

### 第二号議案 2025年度「コーセーコスメトロジー奨励賞」受賞者を承認する件

今年度の調査対象となる研究者47名について、論文実績として被引用件数の調査を行った結果に基づき、最上位となる研究者を表彰受賞者として承認した。

※ 助成採択者及び奨励賞受賞者の氏名、所属等は、本報告書18ページの「VI. 2025年度表彰受賞者及び研究助成採択者」を参照

## 3. 第二回通常理事会

日時：2025年11月27日（木）午後2時より 場所：パレスホテル東京  
理事総数：9名 出席：9名  
監事総数：2名 出席：2名

### 《審議事項》

#### 第一号議案 合併に伴い増員となる理事候補者の選出に関する件

本財団が公益財団法人コーセー小林スポーツ財団（以下、スポーツ財団）を吸収合併することに伴い、現在のスポーツ財団の理事及び評議員から、本理事会において合併後の公益財団法人コーセー小林財団（以下、合併財団）の理事候補者を選出し、合併財団の定款第19条第1項第2号の規定により、評議員会に理事選任の決議を求める提案がなされた。なお、その任期は、合併財団の定款第34条第1項の規定により、2027年度事業年度に関する定時評議員会の終結の時（2028年6月）までとされた。

審議の結果、下記の理事候補者について、個別の決議により出席理事全員の同意が得られ、評議員会の決議を求めることが承認可決された。

理事候補者（敬称略、五十音順）

#### ・スポーツ財団理事

理事	伊東 秀仁	公益財団法人日本オリンピック委員会 理事
理事	岡部 哲也	株式会社ネーヴェ 代表取締役
理事	北野 貴裕	北野建設株式会社 代表取締役会長兼社長
理事	木村 玄一	株式会社ゴルフダイジェスト社 社長
理事	小林 孝雄	コーセーコスメポート株式会社 代表取締役社長
理事	鈴木 一弘	公益財団法人コーセー小林スポーツ財団 専務理事
理事	皆川賢太郎	一般財団法人冬季産業再生機構 代表理事

・スポーツ財団評議員

理事 小林 正典 株式会社コーセー 常務取締役

## 第二号議案 合併に伴い増員となる評議員候補者の選出に関する件

本財団がスポーツ財団を吸収合併することに伴い、現在のスポーツ財団の評議員を、本理事会において合併財団の評議員候補者として選出し、合併財団の定款第19条第1項第1号の規定により、評議員会に評議員選任の決議を求める提案がなされた。

なお、その任期は、合併財団の定款第16条第1項の規定により、2029年度事業年度最終のものに関する定時評議員会の終結の時（2030年6月）までです。

審議の結果、下記の評議員候補者について、個別の決議により出席理事全員の同意が得られ、評議員会の決議を求めることが承認可決された。

評議員候補者（敬称略、五十音順）

評議員 千葉 理 曙綜合法律事務所 代表弁護士

評議員 福田慎太郎 日本管財ホールディングス株式会社 代表取締役社長

## 第三号議案 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部変更に関する件

合併に伴う「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」の一部変更について、理事会において承認し、合併財団の定款第19条第1項第4号及び本規程第11条に基づき、評議員会の承認を求めることが提案された。

慎重審議の結果、本議案は提案のとおり出席理事全員の同意により承認可決された。

## 第四号議案 株主としての議決権行使について

定款第42条第3項の規定により株式会社コーセー第84回定時株主総会において、当財団事業資金の源泉となる配当金が充分見込まれる利益処分に関する議案及び当財団運営に大きな影響を及ぼすことが無いと判断される議案について、議決権行使を理事長に一任する旨の提案がなされた。

慎重審議の結果、本議案は出席理事全員の同意により承認可決された。

なお、本理事会において、合併財団の定款は2025年6月13日開催の2025年度定時評議員会において承認可決されており、その効力発生日は合併期日である2026年4月1日であること、また、第一号及び第二号、第三号議案に関わる評議員会の決議は、合併後直ちに実施する合併財団の臨時評議員会（書面）において行うことを確認した。

## 《報告事項》

定款第34条第5項に基づき、理事長および専務理事の職務執行状況について、2025年度第一回通常理事会以降の業務報告がなされた。

※ 以下、報告の項目のみ記載し、具体的内容は議案書または議事録を参照

1. 2025年度研究報告書発行事業について
2. 財団合併の準備状況について
3. 2026年度の理事会予定

理事会の議事終了後、本財団と公益財団法人コーセー小林スポーツの役員・評議員及び選考委員の顔合わせを行い、両財団専務理事からメンバー紹介と、小林理事長からの方針説明があった。

#### 4. 第二回臨時理事会（書面）

定款第48条に基づく理事会の決議の省略の方法により実施（書面）

理事：9名

監事：2名

提案：2026年2月18日

議事録作成：2026年3月2日

##### 理事会の決議があったとみなされた事項

###### 第一号議案 合併に伴う主たる事務所の移転と従たる事務所の設置に関する件

合併に伴い本法人が存続法人となり改称する公益財団法人コーセー小林財団の事務所所在地について、主たる事務所の移転及び従たる事務所の設置を行うことが、下記のとおり承認された。

- ・主たる事務所の所在地：東京都港区六本木五丁目18番19号
- ・従たる事務所の所在地：東京都中央区銀座三丁目5番12号

なお、主たる事務所の移転及び従たる事務所の設置の期日は合併の効力発生日である2026年（令和8年）4月1日とされた。

###### 第二号議案 2026年度事業計画書等に係る行政庁提出書類を承認する件

新しい事業年度開始日前に当該事業年度の事業計画書等を行政庁に提出するにあたり必要となる提出書類は、

- 1 事業計画書
- 2 収支予算書
- 3 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類
- 4 当該事業年度開始の日において行う公益目的事業の種類又は内容、収益事業等の内容について記載した書類

5 1から4までに掲げる書類について理事会の承認を受けたことを証する書類であり、このうち提出書類1及び2は本年度第一回通常理事会において承認済みであり、今回は提出書類3及び4が承認された。

なお、本理事会議事録を提出書類5として行政庁に提出することを確認した。

## (3) 評議員会

### 1. 定時評議員会

日時：2025年6月13日（金）午後2時より 場所：財団事務所  
評議員総数：8名 出席：7名（内オンライン出席2名） 欠席：1名  
提案：2025年5月26日 議事録作成：2025年6月13日

#### 《審議事項》

#### 第一号議案 2024年度事業報告及び収支決算報告(含監査報告)を承認する件

2025年5月22日に開催された2025年度第一回通常理事会において承認された2024年4月1日から2025年3月31日までの事業年度の事業報告及び決算報告について、専務理事から配布資料に基づき説明がなされ、承認を求める旨の提案がなされた。慎重審議の結果、本議案は出席評議員全員の同意により承認可決された。

#### 第二号議案 吸収合併契約承認の件

専務理事から、本財団が公益財団法人コーセー小林スポーツ財団を吸収合併する件について、配布資料に基づき吸収合併契約を2025年6月13日付で締結したい旨の説明がなされ、本議案が第一回通常理事会において承認されたことを受けて、定款第21条第10号及び第56条の規定により、評議員会の承認の決議を求める提案がなされた。

出席評議員からの意見を確認したのち採決を行い、本議案は出席評議員全員の同意により承認可決された。

#### 第三号議案 合併に伴う定款の一部変更に関する件

専務理事より、当財団が第二号議案「吸収合併契約承認の件」記載のとおり吸収合併を行うにあたり、当財団の現行定款の一部を変更する件について、配布資料に基づいて説明があり、本案が第一回通常理事会において承認されたことを受けて、定款第21条第6号及び第55条第1項の規定により、評議員会において承認の決議を求める提案がなされた。

なお、本議案に係る定款変更は、第二号議案で承認された吸収合併契約に従い吸収合併が効力を生ずることを条件として、当該吸収合併の効力発生日である令和8年4月1日にその効力を生ずるものとされた。

出席評議員からの意見を確認したのち採決を行い、本議案は出席評議員全員の同意により承認可決された。

#### 《報告事項》

1. 2025年度第一回通常理事会関係
2. 財団の活動状況について

- (1) 財団合併の準備状況について
- (2) 助成事業の進捗状況について
- (3) 普及事業の進捗状況について
- (4) 「第36回表彰・贈呈式」の開催予定について

## 2. 評議員への報告（書面）

報告日：2025年12月9日

### 《報告事項》

#### 1. 2025年度第二回通常理事会議事報告（2025年11月27日開催）

- 第一号議案 合併に伴い増員となる理事候補者の選出に関する件
- 第二号議案 合併に伴い増員となる評議員候補者の選出に関する件
- 第三号議案 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部変更に関する件
- 第四号議案 株主としての議決権行使について

理事長および専務理事の職務執行状況の報告（定款第34条第5項）

- (1) 2025年度研究報告集発行业務について
- (2) 財団合併の準備状況について
- (3) 2026年度の理事会予定

#### 2. 来年度の評議員会

3. 両財団役員顔合わせ会の報告
4. 第36回表彰・贈呈式の報告

## 内閣府報告事項【法人の運営体制の充実を図るための取組】

本法人は、令和8年4月1日に公益財団法人コーセー小林スポーツ財団（スポーツ財団）と合併するため、本年度は合併後の財団運営体制の整備に向けた取組を中心に進めた。

### ① 合併に伴う定款の一部変更

合併後の法人ガバナンスの基礎となる定款の見直しを行い、第一回通常理事会(P.7)及び定時評議員会(P.12)において審議、組織決定した。

### ② 合併財団の令和8年度事業計画及び予算の早期作成

合併財団の事業計画を本年度の早い段階で策定し、第一回通常理事会で決議(P.7)を得て、合併に係る行政手続き及び法人組織体制の検討に反映させた。

### ③ 合併財団の公益目的事業推進のための組織体制の検討

合併後は本法人がスポーツ財団の事業を変更なく承継する計画のため、スポーツ財団の役員及び評議員を本法人に合流させて、組織運営体制を強化することとした。その候補者は、第二回通常理事会(P.9)にて選出したのち令和8年度臨時評議員会にて選任する。

## (4) 選考委員会

### 1. 選考委員会 第一～第三分科会

選考委員会分科会は、選考委員会規則第5条第5項の規定に基づき、分科会毎に書面により審議、議決を行うこととした。

提案：2025年9月3日

議事録作成：2025年9月11日

#### ▶第一分科会 委員：4名

##### 議案 2025年度コスメトロジー研究助成の書類選考通過課題を承認する件

第一分野の研究助成金総額について、本年度助成総額6,000万円を3分野の申請金額構成比率により配分して2,100万円とし、書類選考の評価順位が助成金総額の範囲内となる上位11位までの応募課題を、第一分野書類選考通過課題とすることが承認された。

#### ▶第二分科会 委員：6名

##### 議案 2025年度コスメトロジー研究助成の書類選考通過課題を承認する件

第二分野の研究助成金総額について、本年度助成総額6,000万円を3分野の申請金額構成比率により配分して2,800万円とし、書類選考の評価順位が助成金総額の範囲内となる上位17位までの応募課題を、第二分野書類選考通過課題とすることが承認された。

ただし、第7位（3回目の採択候補）および第14位（所属機関の重複）の応募課題は、候補から除外し、第二分野の書類選考通過課題は15課題となることを確認した。

#### ▶第三分科会 委員：4名

##### 議案 2025年度コスメトロジー研究助成の書類選考通過課題を承認する件

第三分野の研究助成金総額について、本年度助成総額6,000万円を3分野の申請金額構成比率により配分して1,100万円とし、書類選考の評価順位が助成金総額の範囲内となる評価順位5位までの応募課題と、ユニーク課題の採択候補として第10位の応募課題を選出し、合わせて第三分野書類選考通過課題を6課題とすることが承認された。

### 2. 選考委員会

日時：2025年9月30日（火）午後5時より、オンライン会議システムによる開催

選考委員総数：15名 出席：14名（委員長除く13名オンライン出席）欠席：1名

提案：2025年9月17日

議事録作成：2025年10月1日

#### 《審議事項》

第一号議案 2025年度コスメトロジー研究助成採択候補者を承認する件

コスメトロジー研究助成の採択候補者を分科会報告のとおりとし、選考委員会からの答申として理事会の承認を求めることが、出席選考委員全員の同意により承認された。

#### **第二号議案 2025年度コーセーコスメトロジー奨励賞候補者を承認する件**

奨励賞候補者の選定のため行った研究者47名の発表論文延べ90報の論文実績調査の結果に基づいて、その最上位となる研究者を表彰候補者として、理事会の承認を求めることが、出席選考委員全員の同意により承認された。

※ 上記の助成採択者および奨励賞受賞者の氏名、所属等は、本報告書18ページの「VI. 2025年度表彰受賞者及び研究助成採択者」を参照

#### **第三号議案 「国際交流助成及び学術集会支援助成の選考に関する選考委員会運用内規」の一部改定について（2025年度実績報告を含む）**

本年8月31日までに国際交流助成5件および学術集会支援助成9件の応募を受け、選考委員長および副査の審査により採択を内定しており、本委員会から理事会に答申することが報告された。

続いて「国際交流助成及び学術集会支援助成の選考に関する選考委員会運用内規」について、公益目的事業としての本助成の公平性を保つために、連続の応募を制限できるように条文の一部を改定することが、出席選考委員全員の同意により承認された。

#### **《報告事項》**

1. 本財団と公益財団法人コーセー小林スポーツ財団の合併について
2. 2026年度事業計画について

### **3. 選考委員への報告（書面）**

報告日：2025年12月9日

#### **《報告事項》**

1. 2025年度第二回通常理事会議事報告（2025年11月27日開催）

第一号議案 合併に伴い増員となる理事候補者の選出に関する件

第二号議案 合併に伴い増員となる評議員候補者の選出に関する件

第三号議案 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部変更に関する件

第四号議案 株主としての議決権行使について

理事長および専務理事の職務執行状況の報告（定款第34条第5項）

- (1) 2025年度研究報告集発行事業について

(2)財団合併の準備状況について

(3)2026年度の理事会予定

2. 来年度の選考委員会

3. 両財団役員顔合わせ会の報告

4. 第36回表彰・贈呈式の報告

#### 4. 臨時選考委員会（書面）

選考委員会規則第5条第5項の規定に基づき書面により実施した。（選考委員：15名）

提案：2026年2月19日

議事録作成日：2026年3月2日

##### 選考委員会の決議があった事項

議案 2026年度 選考委員会 実施計画を承認する件

2026年度の選考委員会の実施計画について、下記が一括して審議された。

(1)コスメトロジー研究助成事業実施計画および公募要領案

(2)国際交流助成および学術集会支援助成実施計画

(3)コーサーコスメトロジー奨励賞実施計画

本議案は選考委員全員の同意により承認可決された。

#### ◇ 行政届出関連

2025年6月18日 内閣府 令和6年度事業報告等の提出

2025年8月20日 内閣府 合併等の届出

2026年3月10日 内閣府 令和8年度事業計画書等の提出

#### ◇ 情報公開関連（ホームページ更新）

2025年2月25日 2025年度 事業計画等の掲載

2025年5月7日 コスメトロジー研究助成公募開始

2025年9月2日 研究報告書Vo1. 33の発行及びHPへの本文掲載

2025年10月7日 2024年度事業報告等の掲載

2025年12月1日 2025年度 表彰および研究助成者受賞者等の掲載

2025年12月1日 2026年度 国際交流助成、学術集会支援助成公募開始

## V. 財団役員・評議員・選考委員

(役職別、五十音順)

2026年3月31日現在

理事長	小林 一俊	株式会社コーセー代表取締役社長 (常勤)
専務理事	亀山 浩一	
理事	天谷 雅行	理化学研究所生命医科学研究センター長
理事	井上 英史	東京薬科大学名誉教授・特命教授
理事	岩橋 楨夫	北里大学名誉教授
理事	関根 茂	日光ケミカルズ株式会社代表取締役名誉会長
理事	長野 哲雄	東京大学名誉教授
理事	野口 範子	同志社大学生命医科学部教授
理事	宮地 良樹	静岡社会健康医学大学院大学学長・理事長、 京都大学名誉教授
監事	小林 久美	公認会計士
監事	村上 實	弁護士
評議員会長	内藤 昇	元株式会社コーセー常務取締役
評議員	伊藤 正俊	東邦大学名誉教授
評議員	岡崎 勲	東日本国際大学客員教授
評議員	齊藤 勲	元厚生省大臣官房審議官
評議員	齋藤 美穂	早稲田大学副総長・名誉教授
評議員	仙名 保	慶應義塾大学名誉教授
評議員	辻 勉	星薬科大学名誉教授
評議員	中村 陽子	元厚生省医薬安全局安全対策課安全対策企画官
選考委員長	岩橋 楨夫 (兼)	北里大学名誉教授
選考委員	朝倉 浩一	慶應義塾大学理工学部教授
選考委員	榎原 毅	産業医科大学産業生態科学研究所教授
選考委員	尾見 徳弥	クイーンズスクエアメディカルセンター皮膚科
選考委員	加藤 直	東京都立大学名誉教授
選考委員	木原 章雄	北海道大学大学院薬学研究院教授
選考委員	桐村 光太郎	早稲田大学理工学術院教授
選考委員	佐藤 隆	東京薬科大学薬学部教授
選考委員	塩田 清二	湘南医療大学薬学部教授
選考委員	戸倉 新樹	中東遠総合医療センター、浜松医科大学名誉教授
選考委員	野々村 美宗	山形大学大学院理工学研究科教授
選考委員	福田 光則	東北大学大学院生命科学研究科教授
選考委員	藤井 まき子	日本大学薬学研究所上席研究員
選考委員	藤本 浩志	早稲田大学人間科学学術院教授
選考委員	村田 茂穂	東京大学大学院薬学系研究科教授

## VI. 2025年度表彰受賞者及び研究助成採択者

### (1) コスメトロジー奨励賞受賞者

石田 竜弘 徳島大学大学院医歯薬学研究部（薬学系）教授

第32回コスメトロジー研究助成 採択（2021年）

研究課題：ポリエチレングリコール（PEG）含有化粧品によって誘導された抗PEG抗体によるCOVID-19-mRNAワクチン投与時のアナフィラキシー反応誘導現象の検証

### (2) コスメトロジー研究助成採択者

#### 第1分野： 素材、物性に関する分野

管理番号	所属機関	研究課題
J-25-1	奈良先端科学技術大学院大学メディクス研究センター 網代 広治	LbL-3D Skinモデル：弾性制御とハイスルー ット評価技術の確立
J-25-2	和歌山県立医科大学薬学部 池田 真由美	超硫黄含有イオン液体による抗酸化外用製剤の 開発と評価
J-25-3	公益財団法人相模中央化学研究所 磯田 恭佑	塗布可能な刺激応答型発光性液体材料による応 力可視化技術の構築
J-25-4	東北大学多元物質科学研究所 殷 澍	水熱プロセスによるセリウム層状化合物の創製 と新規パール顔料としての応用
J-25-5	京都大学大学院エネルギー科学研究科 呉 斐征	スキンケア製品開発を加速する次世代皮膚モデ ルの構築
J-25-6	名古屋市立大学大学院薬学研究科 大橋 栄作	新規還元技術による3-ヒドロキシプロリンの量 的供給と皮膚機能性の解明
J-25-7	関西大学化学生命工学部 大矢 裕一	トポロジカルゲル微粒子を用いた遅効型増粘剤 の開発
J-25-8	大阪大学大学院薬学研究科 澤間 善成	皮膚への浸透を可視化できる有機分子の創製と イメージングへの応用
J-25-9	山形大学理学部 田村 康	出芽酵母を用いたスクアレン大量生産技術開発
J-25-10	同志社大学理工学部 西村 慎之介	紫外線照射により老化防止成分を放出する新規 高分子の開発
J-25-11	三重大学大学院工学研究科 藤井 義久	水のナノ空間分解分子状態計測に基づく化粧品 と皮膚の保湿・保水メカニズムの解明

#### 第2分野： 生体作用、安全性に関する分野

管理番号	所属機関	研究課題
J-25-12	北海道大学病院皮膚科 伊東 孝政	遊走2型自然リンパ球を介した皮膚保護機序解 明
J-25-13	慶應義塾大学医学部 伊東 可寛	皮膚角層における常在菌クロストークの宿主へ の影響

J-25-14	静岡県立大学大学院食品栄養環境科学研究所 伊吹 裕子	皮膚温度の上昇によるヌクレオチド除去修復因子の核小体への移行と光老化への関与
J-25-15	九州大学大学院医学研究院 岡 香織	健康長寿モデル動物ハダカデバネズミにおける皮膚色制御メカニズムの解明
J-25-16	地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所 景山 達斗	毛包オルガノイドを用いたセロトニンの発毛促進作用の理解
J-25-17	近畿大学産業理工学部 北野 隆司	GPR30依存的スフィンゴ脂質代謝経路の再構築を介した皮膚バリア恒常性維持機構の解明
J-25-18	大阪大学大学院薬学研究科 近藤 昌夫	顆粒層バリア機能に着目した新たな保湿成分の開発
J-25-19	防衛医科大学校 防衛医学研究センター 杉山 夏緒里	ラマンイメージングを用いた表皮幹細胞バイオマーカーの探索
J-25-20	東京大学定量生命科学研究所 滝沢 由政	ケラチノサイト分化に伴うクロマチン高次構造変化の可視化
J-25-21	岡山理科大学大学院理工学研究科 中村 元直	角化細胞に内在する苦味受容体の賦活化で細胞老化を抑制する
J-25-22	名古屋大学環境医学研究所 仲矢 道雄	新規線維化促進分子に着目した皮膚線維化メカニズムの解明
J-25-23	北海道大学遺伝子病制御研究所 西村 有香子	皮膚の創傷治癒を制御するメカノセンサー微小管の役割
J-25-24	福島県立医科大学腎臓高血圧内科学講座 東 淳子	表皮や毛包の向きを整える線維芽細胞の新しい役割の解析
J-25-25	理化学研究所生命医科学研究センター 福田 桂太郎	角層pHを標的としたヒト角層バリア機能の制御技術の開発
J-25-26	京都大学大学院医学研究科 米倉 慧	腸内微生物叢に着目したアトピー性皮膚炎の新規治療法の開発

### 第3分野：精神、文化に関する分野

管理番号	所属機関	研究課題
J-25-27	京都府立医科大学大学院医学研究科 足立 哲也	分光学的解析手法を用いた細胞外基質の分子構造および空間的階層構造の解析-シワ・たるみの予防-
J-25-28	神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科 和泉 慎太郎	感性技能の可視化と伝達を実現する化粧動作センシング・提示技術の研究
J-25-29	東京都市大学理工学部 須藤 誠一	自己光混合法による皮膚の非接触高精度状態評価法の開発
J-25-30	関西学院大学大学院社会学研究科 堀田 奈穂	「心なおし」としての化粧-ハレ・ケ・ケガレのコスメトロジー
J-25-31	明海大学歯学部 三浦 賞子	顔貌と調和する歯の色の科学的解明-フェイススキャナーと色彩解析による新たな補綴設計指針の提案-
J-25-32	東邦大学医学部 吉田 さちね	親とのスキンシップで子どもの安心感が育まれる脳内基盤の解明

### (3) 国際交流助成

No	実施計画	実施責任者 (敬称略)
1	日本人間工学会第66回大会 研究者招聘 (2025年5月21日～23日)	産業医科大学産業生態科学研究所 教授 榎原 毅
2	カナダ マクマスター大学 留学 (2025年8月1日～2027年8月31日)	自治医科大学 病院助教 渡部 純
3	International Symposium on Multimodal ECM 研究者招聘 (2025年9月1日～6日)	理化学研究所生命機能科学研究センター チームリーダー 藤原 裕展
4	九州・歯科コスモロジー研究会国際シン ポジウム 研究者招聘 (2025年9月3日～ 8日)	九州歯科大学大学院歯学研究科 研究科長 古株彰一郎
5	アメリカ UCLA医学部 留学 (2025年10月1日～2026年9月30日)	京都大学大学院薬学研究科 博士後期課程 山野 真由

### (4) 学術集会支援助成

No	学術集会	実施責任者 (敬称略)
1	第57回日本結合組織学会学術大会 (2025年6月7日～8日)	大阪大学大学院医学系研究科 招聘教授 玉井 克人
2	第41回日本DDS学会学術集会 (2025年6月17日～18日)	国立がん研究センター 分野長 安永 正浩
3	第48回日本基礎老化学会大会 (2025年6月27日～29日)	東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長 堀田 晴美
4	日本ビタミン学会第77回大会 (2025年6月28日～29日)	北里大学薬学部 教授 今井 浩孝
5	第50回日本化粧品学会 (2025年7月4日～5日)	東京都済生会中央病院 院長 海老原 全
6	第19回次世代を担う若手のための医療薬学 科学シンポジウム (2025年9月6日～7日)	同志社大学大学院脳科学研究科 准教授 西村 周泰
7	日本家族看護学会第32回学術集会 (2025年9月20日～21日)	札幌医科大学保健医療学部看護学科 教授・看護学科長 今野 美紀
8	タンパク質・オルガネラ寿命制御に関する 国際会議 (2025年10月30日～11月2日)	東京大学大学院薬学系研究科 教授 村田 茂穂
9	第47回日本バイオマテリアル学会大会 (2025年11月9日～11日)	東京女子医科大学先端生命医科学研究所 所長・教授 清水 達也

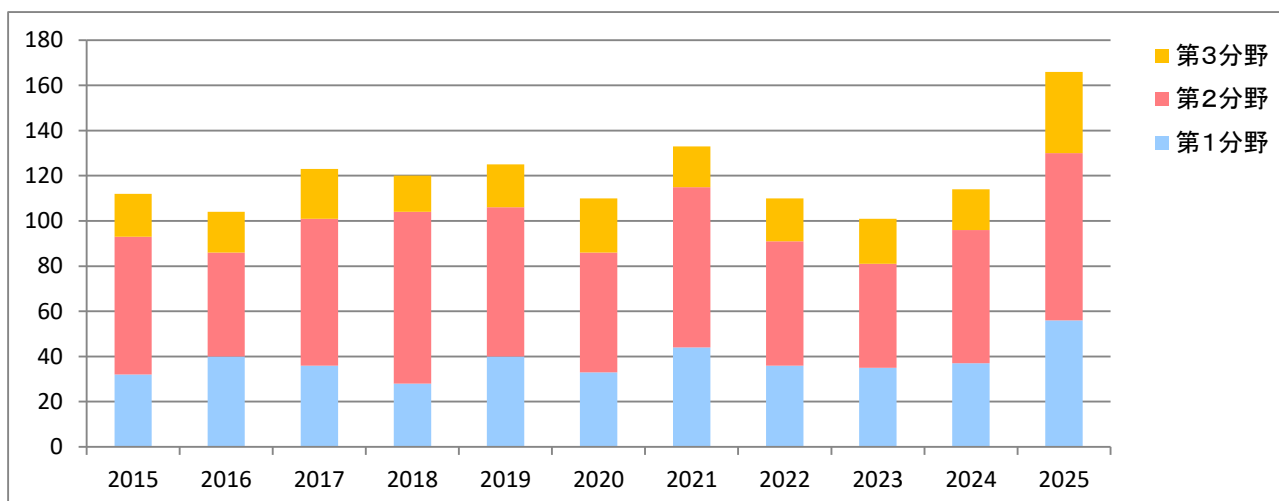
## VII. 事業報告附属明細書

### (1) コスメトロジー研究助成

#### 1. 応募件数・助成件数の推移

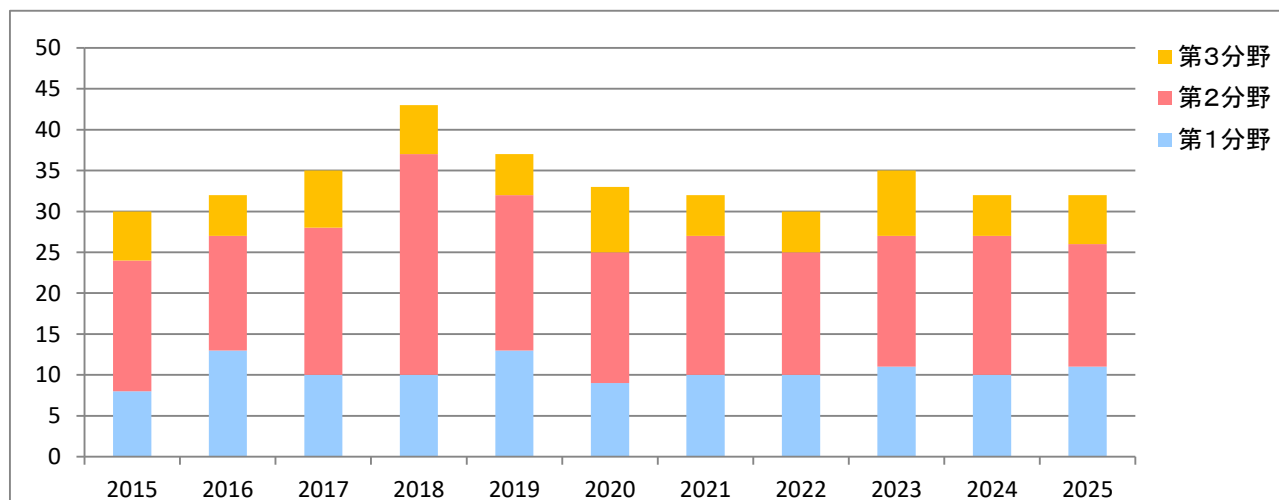
分野別応募件数

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
第1分野	32	40	36	28	40	33	44	36	35	37	56 (件)
第2分野	61	46	65	76	66	53	71	55	46	59	74
第3分野	19	18	22	16	19	24	18	19	20	18	36
合計	112	104	123	120	125	110	133	110	101	114	166



分野別助成件数の推移

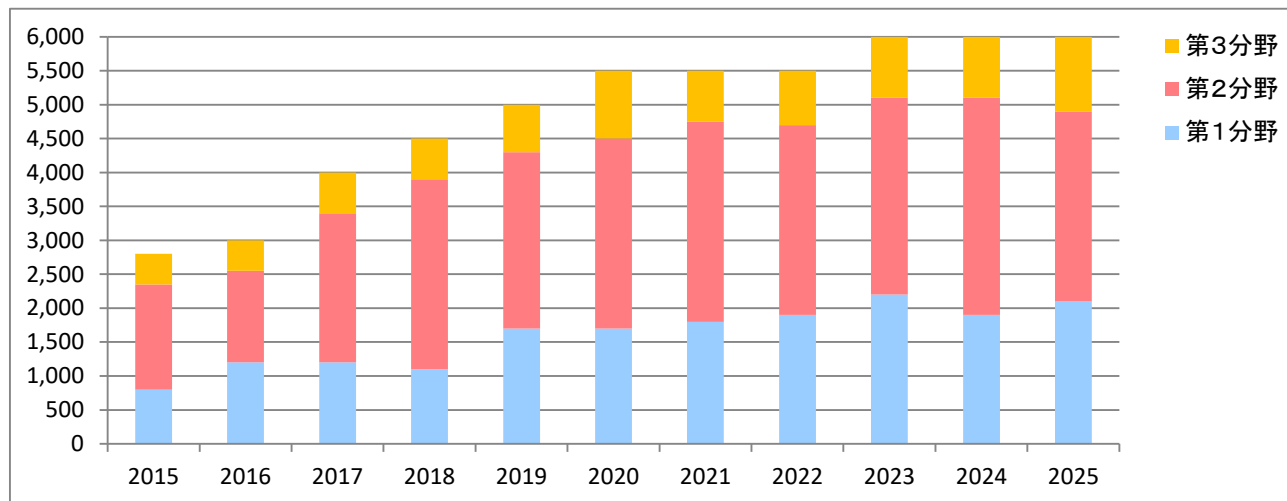
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
第1分野	8	13	10	10	13	9	10	10	11	10	11 (件)
第2分野	16	14	18	27	19	16	17	15	16	17	15
第3分野	6	5	7	6	5	8	5	5	8	5	6
合計	30	32	35	43	37	33	32	30	35	32	32



## 2. 助成金額の推移

分野別助成金額の推移

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
第1分野	800	1,200	1,200	1,100	1,700	1,700	1,800	1,900	2,200	1,900	2,100
第2分野	1,550	1,350	2,200	2,800	2,600	2,800	2,950	2,800	2,900	3,200	2,800
第3分野	450	450	600	600	700	1,000	750	800	900	900	1,100
合計	2,800	3,000	4,000	4,500	5,000	5,500	5,500	5,500	6,000	6,000	6,000



### (2) 特定課題研究助成 (大学講座研究助成)

#### 1. 大学講座研究助成 (2020～2023年度)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
応募件数	48 件	新規公募なし	新規公募なし	新規公募なし
採択件数	3 件	継続2年目	継続3年目	継続4年目
助成金総額	8,000 万円	8,000 万円	8,000 万円	9,000 万円

※ 2020年度採択3件の研究期間は2027年3月31日までとする。(助成金納付済)

#### 2. 特定課題研究助成 (2024年度開始)

	2024年度	2025年度	2026年度予定
応募件数	15 件	新規公募なし	新規公募なし
採択件数	4 件	継続2年目	継続3年目
助成金総額	4,000 万円	4,000 万円	4,000 万円

※ 2024年度採択4件の研究期間は2028年3月31日までとする。

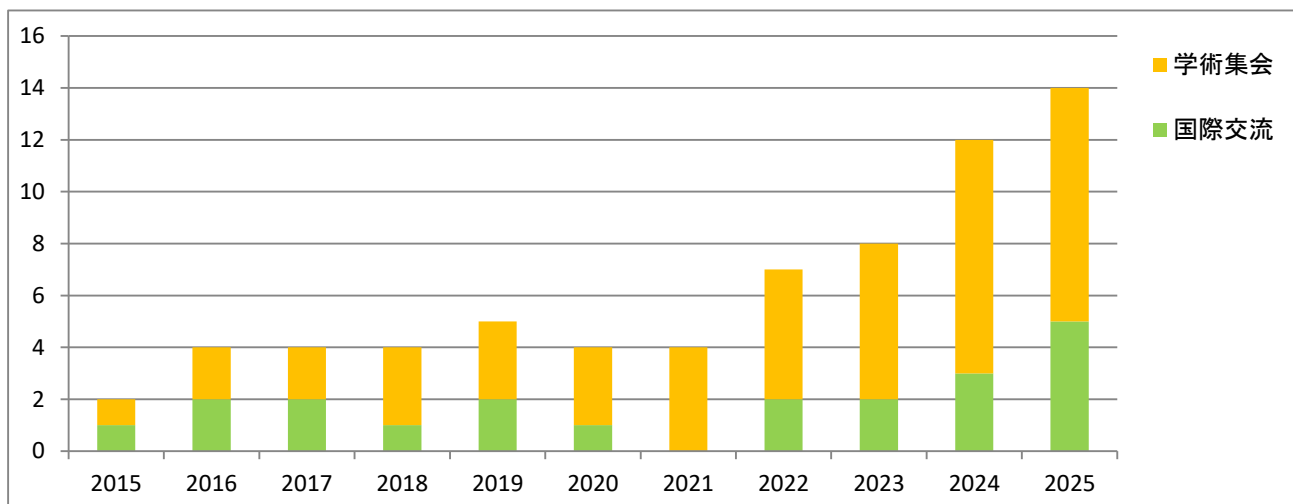
※ 2027年度以降の新規公募については当年度事業計画において検討する。

### (3) 国際交流助成及び学術集会支援助成

#### 1. 助成件数の推移

事業別助成件数の推移

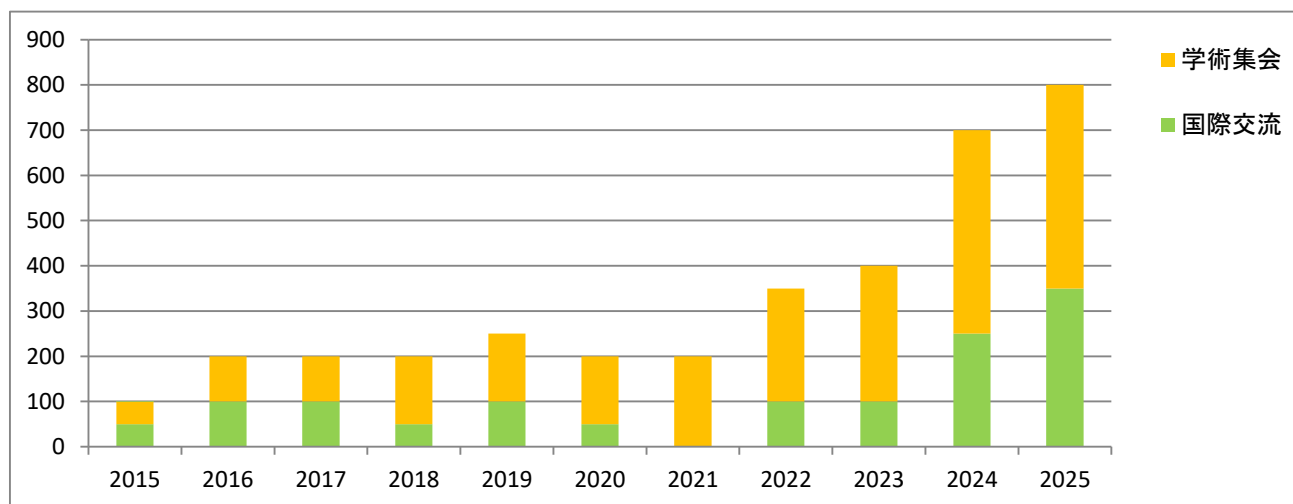
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
国際交流	1	2	2	1	2	1	0	2	2	3	5 (件)
学術集会	1	2	2	3	3	3	4	5	6	9	9
合計	2	4	4	4	5	4	4	7	8	12	14



#### 2. 助成金額の推移

事業別助成金額の推移

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
国際交流	50	100	100	50	100	50	0	100	100	250	350 (万円)
学術集会	50	100	100	150	150	150	200	250	300	450	450
合計	100	200	200	200	250	200	200	350	400	700	800



# 第一号議案 説明資料

## ○2 ページ

### I. 助成事業（1）計画

#### 1. 研究助成事業

##### 1-1 「コスメトロジー研究助成」

- ・財団設立以来のメイン事業、総額6000万円

##### 1-2 特定課題研究助成

- ・2024年採択4課題、2年目の助成金交付、総額4000万円

#### 2. 国際交流助成及び学術集会支援助成

- ・国際交流助成、研究者の海外派遣又は国内招聘、総額400万円
- ・学術集会支援助成、コスメトロジー関連の研究会・シンポジウム等の開催支援、総額400万円
- ・両助成合わせて総額800万円で予算管理、受付順に審査

## ○3 ページ

### I. 助成事業（2）経過

#### 1. 研究助成事業

##### 1-1 「コスメトロジー研究助成」

- ・5/7公募開始、7/3受付終了、応募総数166件と過去最高 ・助成採択者32名

##### 1-2 特定課題研究助成

- ・2024年度特定課題4課題、2年目の継続交付各1000万円

#### 2. 国際交流助成及び学術集会支援助成

- ・随時応募を受付、国際交流助成5件、学術集会支援助成9件を採択

### (3) 結果

- ・コスメトロジー研究助成32件、6000万円
- ・特定課題研究助成4件、4000万円
- ・国際交流助成5件
- ・学術集会支援助成9件 合わせて50件、1億800万円

【財団設立以来の累計】 採択件数1053件、交付金総額 16億5084万円（表彰を含む）

## ○4 ページ

### II. 普及事業 研究助成の成果を社会に普及させる活動

### (3) 結果 ○5 ページ

#### 1. 研究報告集発行事業

- ・中間・完了の両報告書は予定通り発行

#### 2. 表彰事業「コーセーコスメトロジー奨励賞」

- ・助成を受けた研究の成果を発表した論文の中から、その年の最優秀論文を表彰
- ・徳島大学大学院医歯薬学研究部 石田竜弘 教授

### III. 表彰贈呈式

- ・昨年11/27、パレスホテルで開催、参加者102名

以上、すべての公益事業について当初の事業計画通り実施しました。

## ○6 ページ

### IV. 会議等

- ・理事会、評議員会にオンライン出席を併用した
- ・（１）監事会の経過報告

○ 7 ページ

- ・（２）理事会の経過報告
- ・第一回通常理事会（今年のこの理事会） 7 ページ：合併契約、定款変更、8 ページ：合併財団

○ 9 ページ

- ・臨時理事会 2025年度研究助成採択者を承認
- ・第二回通常理事会（表彰贈呈式、対面）合併に伴うスポーツ財団役員・評議員の選出に関する

○ 11 ページ

- ・コスメトロジー財団とスポーツ財団の役員、評議員、選考委員の顔合せ会を開催

○ 12 ページ

評議員会

○ 14 ページ

選考委員会 分科会は書面決議により実施、本選考委員会はオンライン会

○ 16 ページ

- ・行政届出関連と情報公開関連の実績報告 記載の通り

○ 17 ページ

V. 当財団役員、委員の名簿（2026/3/31現在）

○ 18 ページ以降

VI. 2025年度表彰および研究助成採択者のリスト

○ 21 ページ～

VII. 事業報告書附属明細書

- ・この10年のコスメトロジー研究助成の実績をグラフ化したもの
- ・21 ページ上段 コスメトロジー研究助成の応募件数100～120件→当年度166件過去最高
- ・21 ページ下段 コスメトロジー研究助成の助成件数 30件前後  
助成総額を増やしているが、助成金を1件100万円から200万円にして件数は変わらない
- ・22 ページ上段グラフ 助成金額の推移 この10年で倍増
- ・22 ページ後半 大型研究助成事業「特定課題研究助成」前の「大学講座研究助成」実績
- ・23 ページ 国際交流助成と学術集会支援助成の実績をグラフ化  
コロナ禍以降は両助成事業ともに助成件数、金額ともに伸びている  
ただし学術集会支援助成は同じ学会から毎年応募があり、新しい学会への支援が広がらない  
ため、2026年度から3年連続して同じ主催団体の応募は受け付けられないよう制限を設けた

以上、「事業報告書」についてご報告申し上げます。